

Vericut トレーニング カスタマイズコース（個別）

カスタマイズコースの準備

本コースを受講するには、Vericutの使用経験が必須です。Vericutの基本操作に習熟していることが前提となります。

最大限の学習効果を得るため、事前にVericut トレーニングの標準コース&マシンシミュレーションコースを修了してください。また、Vericutに標準搭載されているトレーニングセッションを復習するのも効果的です。トレーニングセッションは、Vericutのヘルプメニュー>トップメニュー…>"トレーニング"（右側のツリー内）にあります。

本コースでは、Vericut トレーニング標準コースの内容を前提に、CNC工作機械やGコードNCプログラムのシミュレーションに関する高度な設定を学びます。

機械情報：

- 工作機械のメーカー名と機種名
- 機械の図面（全ての移動軸と方向、旋回中心距離、移動距離と制限を含む。情報が多いほど望ましい）
- 機械モデル（モデルデータがあれば提供、ない場合は機械構成部品の図面）
- 工具動作（工具交換時にどの軸が動き、どの位置に移動するか）
- 各軸の最大早送り速度および最大送り速度
- 早送りの同期・非同期

制御情報：

- 制御装置のメーカー名と機種名
- プログラミングマニュアルまたはオペレーターマニュアル（サポートされる全てのコードを記載した資料）

サンプル/テスト用ジョブデータ：

- NCプログラム（オペレータの介入なしで実機で正しく稼働することが確認されているプログラムで、シミュレーション対象の全機能を含むもの）
- 素材モデル（モデルファイル、図面、または寸法）
- 治具/設計モデル（可能であれば持参。シミュレーション機上での段取りを効率化し、動作検証の精度を高めるのに有用）
- 段取り情報／手順書
- 切削工具情報（工具形状、ポケット番号、ゲージ長、オフセットなど。全てが必要になるとは限らないが、念のため準備推奨）

講習後について

受講中に可能な限り機械設定を完成させられるよう支援しますが、必ずしもその場ですべてを完了できるとは限りません。本トレーニングの目的は、各種機械や制御構築に共通する基礎知識を身につけ、幅広い機械タイプに対応できるようになることです。講習後に疑問が生じた場合は、テクニカルサポートまでお気軽にお問い合わせください。

多くの質問は直接解決できますが、場合によってはコンサルティングサービスの利用が適していることもあります。いずれの場合も、最善のサポートを提供いたします。